

群馬県適正化通信 NO.192(令和6年12月号)

年末年始に伴う事故防止について

12月中は輸送量が増加する繁忙期であり、最も交通事故発生件数が増加する傾向にあります。諸説ありますが、昔から「僧侶のような普段落ちついている人でも、この月は多忙で走り回る」と言われるほど年末の慌ただしさを感じさせる特別な月です。ドライバーにとっては普段より運転操作等の判断ミスを起こしやすく、わずかな運転ミスによって事故につながりやすい時期でもあります。

県警の交通事故発生状況（令和6年10月末現在）では、“月別発生状況”でも1年のうちで12月が人身事故、死者数、負傷者数ともに多く発生しています。

区分	令和5年		令和6年										累計
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
人身件数	901	926	766	693	719	792	711	723	735	636	702	807	7,284
死者数	5	7	2	3	3	2	8	6	5	1	7	3	40
負傷者数	1,091	1,133	938	835	912	970	877	880	897	830	851	994	8,984

「群馬県警察本部:令和6年10月末の交通事故発生状況」より引用

年末に事故が多発する要因には“交通量の増加”、“道路渋滞や混雑”など周囲の環境変化があげられます。「いつもなら、こんなに渋滞していないのに…」、「いつもより時間がかかって指定時間に間に合わない！」など、ドライバーの気持ちに焦りが生じることも多くなります。その結果、“車間距離不十分”、“速度超過”、“信号無視”などの煽り運転や危険運転行動を起こしやすくなります。

また、この時期は日照時間が最も短いため、歩行者や自転車などに気づきにくい時期です。

今年は事業用トラックが原因となる死亡事故や飲酒運転事故等が多く発生しました。

事業者や管理者の皆様には、交通ルールの遵守と安全運転の励行など、年末年始に向けて改めて社内における事故防止の徹底をお願いします。

事故防止のポイント

- 運転中は常に周囲の安全確認をしっかりと行い「かもしれない運転」を心掛けること。
- スピードの出しすぎに注意し、何かあっても対応できるよう十分な車間距離を確保すること。
- 薄暗くなったら早めのライト点灯を心掛け、暗い道や対向車、先行車がない時はハイビームを活用すること。
- 深夜、早朝時は速度を落とした運転を心掛けること。
- 飲酒運転等の危険性や違法性を認識し、飲酒後の運転は絶対にしないこと。

不明な点は気軽に適正化指導員にお尋ね下さい。

群馬県貨物自動車運送適正化事業実施機関

電話027-212-8821